

普及活動情勢報告（平成28年4月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

きれいな花を長く保つために ～ユリの鮮度保持剤の使用の検討～



鮮度保持剤効果を確認中

JA 高知春野花卉部会球根部会では、ユリの鮮度保持剤の使用による他産地との差別化を検討しており、昨年12月から各鮮度保持資材の効果を検証しています。これまでに、「ソルボンヌ」、「シベリア」の2品種で試験し、品種による効果の差も確認しています。今回は第3弾として4月8日から「セーラ」で開始しており、試験結果によってはより有望な資材の絞込みができる見込みです。

普及所では今後も、ユリの有利販売につながる技術の確立に向け、JAと連携して試験を継続していきます。

老舗のキク産地の維持のために ～JA 高知春野花卉部会草花部会現地検討会～



キクの活着状況を確認

4月11日、JA 高知春野花卉部会草花部会の現地検討会が開催され、キクの生育状況を巡回確認しました。ほ場によっては、白さび病やアブラムシの発生があり、効果的な対処法や栽培環境の改善方法について情報交換しました。

普及所からは、既存品種の問題点や栽培管理の省力化が期待できる新品種を紹介し、その品種の導入の意向等について意見交換し、栽培の効率化に向けて協議しました。

今後も老舗キク産地の維持発展に向け、支援していきます。

皆で良いオクラを作るために ～JA 高知市介良支所オクラ部現地検討会～



トンネル栽培ほ場を巡回中

4月14日、JA 高知市介良支所オクラ部が現地検討会を開催し、部員8名全員が参加しました。

普及所から栽培管理（換気・追肥・害虫対策など）について説明した後、全員で各ほ場を巡回し、生育状況を確認しました。農家からは、トンネル栽培での換気の仕方など具体的な質問やお互いに意見を出し合い、栽培管理について理解が深まりました。

今後も普及所では、巡回等を通じて、生産安定に向けた栽培技術指導を行っていきます。

キュウリの生育調査をしています！ ～炭酸ガス施用効果の実証～



生育を調査する普及所職員

高知普及所管内では、キュウリでの環境制御技術として炭酸ガス施用の効果について実証しています。また、この実証ほでは、ハウス内の平均気温を高める管理や、pHやECを管理しながら栽培することで収量が上がるか検討しており、それらの管理で生育に変化があるかを定期的に調べています。

今後は、講習会や勉強会を通してキュウリ部会全体に炭酸ガス施用による効果や温度、pH、ECの適正な管理を普及していきます。

ミョウガ農家の新規就農希望者を募集します！ ～産地提案書の検討～



産地のために熱心に協議中

JA 高知市ミョウガ生産部会は大津地区と土佐山地区でそれぞれ活動しています。しかし、技術向上や担い手対策は共通の課題となるため、4月14日に両部会の20名が集まり、現地検討会とともに、産地提案型（産地側が就農希望者に受け入れ要件を提案）担い手対策について協議を行いました。その結果、提案書を作成し、子供や親戚など身近な人にミョウガでの新規就農を勧めていく事になりました。

普及所は、生産部会が新規事業等を利用し新規就農希望者に研修などが行え、産地維持発展ができるように支援していきます。

売り上げアップを目指して ～鏡村直販店組合チーム会を開催～



品目・作型を検討中

4月19日、「鏡村直販の店」万々店で直販店組合役員、高知市職員、県関係職員と販売額向上のための打ち合わせを行いました。普及所はアクションプランに「直販店を核とした鏡地域の活性化」として位置付けられているこの取り組みを支援をしています。今回は消費者の需要の多い夏秋野菜の出荷量の時期的な偏りの改善のため、従来と少しずらした作型の提案を行い、その周知方法や推進方法を検討しました。

普及所では今回のチーム会の結果をとりまとめ、栽培講習会や個別巡回での推進、栽培試験などを行っていきます。